

一般質問

市政のこころを問う

この定例会では、9月5日から7日までの3日間で、16名の議員により、市政全般についてたずね、一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

一般質問項目（発言順） ※印が掲載した項目です。

- 上田 昌哉 議員 ※1 刈谷市の財政について
- 鈴木 絹男 議員 ※1 定住自立圏について
- 佐原 充 議員 ※2 刈谷市総合病院D・M・A・T（災害派遣医療チーム）について
- 白土 美恵子 議員 ※1 国民健康保険について
- 黒川 智明 議員 ※2 刈谷市の防災施策向上について
- 新川 健治 議員 ※1 岩ヶ池公園の第3期拡張計画について
- 渡辺 周二 議員 ※1 雇用対策について
- 松永 寿 議員 ※1 市民の健康を守る保健行政について
- 蜂須賀 信 議員 ※1 通学路の安全確保について
- 山本 シモ子 議員 ※2 生活保護制度について
- 清水 行男 議員 ※4 成年後見制度について
- 山崎 高晴 議員 ※1 交通弱者に対する安全対策について
- 星野 雅春 議員 ※2 公共下水道事業の整備について
- 野村 武文 議員 ※2 市民の健康について
- 加藤 賢次 議員 ※4 文化・スポーツの振興について
- 新海 真規 議員 ※2 ケーブルテレビの可能性とまちづくりについて
- ※1 依佐美鉄塔跡地について
- ※2 刈谷駅南地区市街地再開発事業のその後について
- ※3 水道事業と消防水利の連携について
- ※4 保育行政と新システムの動向について
- ※1 市民要求実現の目途について
- ※2 治水対策について
- ※1 特別支援教育について
- ※2 起業創出支援について

一般質問のすべての質問・答弁が映像でホームページからご覧になれます。
刈谷市議会ホームページ：<http://www.city.kariya.lg.jp/gikai/>
「会議録検索システム・議会映像」のページからご覧ください。

上田 昌哉 議員（一問一答方式）

市民にとって大切な公園を維持するための施策は

—民間の資金、経営能力及び技術力の活用を検討—

問 公園の維持管理費の年間の予算はいくらで、刈谷市の予算の何割を占めるのか。

答 公園施設の修繕や草刈り、樹木の剪定などを含めた維持管理費は、人件費を除き、平成24年度で約3億2千万円、一般会計予算の約0.68%となっている。

問 公園の維持管理費は、今後財政の厳しい折、大変になってくると思うが、民間の資金活用についてはどう考えているか。

答 今後大規模な公園整備を計画する際に、民間の資金や経営能力等を活用したPFI事業

鈴木 絹男 議員（一問一答方式）

衣浦定住自立圏における今後の展望は

—将来の刈谷の発展に結びつくことを願う—

問 刈谷市を中心とする衣浦定住自立圏は、本市の今後の発展の大きな柱である。本年作成された共生ビジョンでは、どのような取り組みをしているのか。

答 図書館や公共施設の相互利用促進事業、美術館入館促進事業、情報ネットワーク活用事業、病診連携推進事業等である。

問 病診連携により、刈谷と診療所とのネットワークができたことは大きな成果であると思う。定住自立圏の効果やメリットはどのようなものがあるか。

答 施策の推進が図りやすく、

佐原 充 議員（一問一答方式）

問 刈谷市の障害者数は5,525人、人口の3.8%にあたるが、5年前と比較してどうか。

情報提供している。障害者支援センターでは就労に必要な知識、技術の習得や能力の向上を図るとともに、就労先の紹介、生産活動の場の提供を行っている。

問 親なき後の障害者の生活や介護を継続支援する体制は構築されているか。

答 障害福祉課、障害者支援センターが窓口となり、支援するサービスの説明、医療機関の紹介、必要となる手続きのサポートを継続して行っている。

白土 美恵子 議員（一問一答方式）

問 東日本大震災以降、全国各地で災害対策に女性の参画を求める声が強まっている。女性の視点を生かすきめ細やかな防災対策が求められるが、本市の防災会議について、女性の参画を拡充する考えはあるか。

答 長期に及ぶ避難生活の中では高齢者、障害者を初め妊婦、乳幼児へのケアなど、女性の視点によるきめ細かな対応は欠かせないものであり、女性委員の参画は実効性のある防災計画づくりには役立つものと考えている。現在は委員28人中1人

黒川 智明 議員（一問一答方式）

問 昨年度の自主防災訓練の実績と内容について、市としてどのように評価しているか。

答 22地区で36回の訓練を行っている、3,633人が参加をして

問 被災地での被害状況を市民に周知することが地域の自発的な備蓄品の整備や訓練を促すことにつながると思うが、市民に対する防災意識向上の施策をどのように行っているか。

答 本市における液状化予測の結果を踏まえ、安全な避難通路の確保を地区と協議するなど、あらゆる機会を通じて自助の精



刈谷市障害者支援センター

神の浸透を図って行く。

問 来る11月11日に実施予定の総合防災訓練のねらいと仕掛けはどのようなものか。

答 巨大地震の発生に備え、

新村 健治 議員（一問一答方式）
工場の異臭問題に対する市の関わりは
 —原因者と苦情者による問題解決への体制づくり—

問 過去3年間の悪臭に関する相談件数は、また市の対応は。

答 平成21年度は13件、22年度は8件、23年度は8件で、市の対応としては、現地を確認するとともに、原因者とも接触している。

問 一里山町の工場の異臭問題について、企業と住民と市による三者協議を行っているが、立ち上げの経緯は。

答 市では、生活環境の改善に関する相談を受けた場合、問題解決への手段として、いわゆる三者協議を行うことを基本と

渡辺 周二 議員（一問一答方式）
安心・安全なまちづくりのための地震対策を
 —効率的に耐震化を進め、安全性を確保—

問 大規模な地震の発生後にも安全で安心な刈谷市とするため、道路整備は重要である。本市は耐震化だけでなく幹線道路の整備も進捗しているが、緊急輸送道路の機能確保のため、地震対策として実施していることはあるか。

答 電柱倒壊や電線切断による停電や通信不能を防ぐため、電線類地中化を実施している。

問 市民が安全に避難するため、避難路となる生活道路に対し今後どのような対策を行う予定があるか。

答 今年度より橋梁耐震化計画の策定に着手している。生活道路は路線数が多いため、避難路としての安全性や必要性を検

地域と行政相互の連携を図ることを目的とし市内の高等学校や中学校にも参加を求め、新たな訓練としては、避難所資機材の取り扱い体験などを実施する。

しているため、一里山地区でも同様に開催している。

問 三者協議の成果に対する市の認識は。

答 苦情件数の減少により、一定の評価ができると考えている。また、企業と地区住民が合

同で臭気パトロールを実施しており、両者で良好な関係が築かれておりと認識している。

問 問題解決に向けて、市は今後どう関わっていくのか。

答 原因者と苦情者の二者協議による問題解決への体制づくりを視野に入れて対応していく。

証するとともに、対象とすべき路線を選定し、その路線内にある橋梁の耐震化を図っていく。

問 横断歩道橋の耐震化対策と優先順位はどのようになっているか。

答 構造上健全なものは落橋防止対策のみとする場合もあれば、調査結果次第では建てかえ

を行うものもあり、危険度の高いものから順次整備を行う。

松永 寿 議員（一問一答方式）
通学路の安全対策はどのように進めていくのか
 —学校周辺など児童生徒の通行が多い場所から施工していきたい—

問 通学路の危険箇所の対策において、行政の対策と市民の要望にギャップがあるように思われるが、対策についてどのように考えているのか。

答 道路に制限や基準が設けられていて要望される改善策の実現が難しくても、様々な方策を検討し危険性を少しでも排除できるように努めている。

問 通学路の安全対策は今後どのように進めていくのか。

答 道路拡幅や交差点改良の際に歩道をガードパイプ等で車道と分離することを道路管理者

域域包括支援センターにおいては、高齢者の成年後見制度利用に関し、どのような支援が行われているのか。

答 制度の利用に関する相談、助言、申立て支援のほか、診断書の作成や判断能力の鑑定に関する医療機関との連携、成年後見人となるべき者を推薦できる団体との連携などを行っている。



横断歩道橋

山本 シモ子 議員（一括質問一括答弁方式）
高齢者、子育て世帯直撃の税制改正に対する応援施策を
 —認可外保育所利用補助制度など、様々な施策へ税を充当—

問 第5期介護保険改定での保険料の大幅値上に続き、老年者控除の廃止、加えて年金の減額で高齢者のくらしは深刻である。現状をどう認識しているか。

答 介護保険基金を投入して、最大限保険料の軽減に努めているが、65歳以上の方の保険料の負担割合は、介護保険法により原則として保健給付費の21%と

区での勉強会による周知活動を行ったり、窓口で配る介護サービス事業のパンフレットの中でも制度を紹介しているが、今後関係機関と連携して市民全体に対する制度の周知に努める。

問 窓口を一本化し、制度の利用促進を図るためにも成年後見センターの設置が必要と思うが、どう考えるか。

答 今後、県内の状況調査や関係機関からの意見聴取を行い、本市における制度の望ましいあり方とセンターの設置の方向性について検討して行く。

定められている。

問 国民健康保険税は、全国津々浦々で1世帯あたり1万円の引き下げが実施され、住民から喜ばれている。刈谷市は一般財源からの投入で値下げをすべきではないのか。

答 国民健康保険税の引き下げをする考えはない。

清水 行男 議員（一問一答方式）
人の命を守る道路整備を
 —道路形態を見直し、安全快適な道路空間を確保していく—

問 本市における交通事故の動向はどのようになっているか。

答 最近3年で交通弱者に対してどのような整備を行ったか。

答 最近の動向としては、車両・自転車・歩行者のいずれも死亡事故における高齢者の割合が高く、平成20年からは子供の事故件数が増加傾向にある。整備の状況は、信号機4台、横断歩道24件、道路に歩道を1、85.6m設置した。

歩行者への安全対策が進んでいないように思われる。今までのような車社会のための道

廃止で、子育て世帯が増税になり、市税は増収となっているが、若い世帯をいじめるものとなっていることをかんがみ、子育て世帯の暮らしを応援する施策につなげる考えはないのか。

答 育児ママ訪問サポート事業や本年から実施している認可外保育所利用補助制度など、様々な施策へ税を充当している。

公職選挙法で市議会議員は寄附や年賀状を出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

公職選挙法で市議会議員は寄附や年賀状を出すことが禁止されています。

禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本人が出席しない場合の結納祝	お祭りへの寄附や差入	病氣見舞
お盆（新盆）	非式の花輪、供花	本人が出席しない場合の葬式の香典
町内会の集会や旅行などへの寄附や差入	お中元 お歳暮	入学祝 卒業祝

市議会議員一同